

寺だより 極楽寺



第一回法然上人25霊場田参の御寄稿を総代の内田様より頂いております。前号の締切り後でしたので今号に掲載申し上げます。

霊場参拝旅行報告

内田竹次郎 82才
極楽寺第50代住職就任記念として、法然上人25霊場参拝旅行については、川島義一郎様と、加藤泰子様、ご両人の報告のとおりであります。誕生寺住職は、当極楽寺慶成住職と、同期に修業された方で、非常に能弁な説教で、前段は、法然上人の誕生から出家するまでのお話であり、後段は誕生寺特製のオリジナル銘訓であり非常にためになること。しかも面白く説教されましたので、ここにご紹介申し上げます。

お金も子供も言う事ないが、もらった嫁御が、気に入らん。
生んだ我が子も、親にたてつく世の中だ。
他家で生れた人じゃもの、辛抱するのが当り前。
二つそろってよい事ないと、悟るまでには月日がかかる。
わかりかけたらこの身の終り、ほんとに浮世は、ままならぬ。

以上のとおり現世代に びつたりの銘訓であり私共もこれからの生活に欠くことのできない現代世相として感銘したところであります。
今回2霊場を参拝し、残り23霊場を是非早期に完拝したいと念願しております。
このたびの2泊3日の旅行も一寸したハブニングもありましたが、旅の一息まとして後々の楽しい話題として残ることでしょう。幸いにも、全員何事もなく帰宅できましたことは、誠に喜ばしい次第であります。
今回の旅行に当りましては、慶成住職のお努力に対し感謝し御礼申し上げます。

極楽寺御詠歌
極楽の弥陀の浄土へ
行きたくば
南無阿弥陀佛
口ぐせにせよ

蓮の花が一輪二輪と咲きお盆の候となりました。平素は日々の忙しさにかまけて思うにまかせません。せめてお盆は普段から何も催促はさらない。ご先祖様と団らんの時をもちたいものであります。



法然上人様のお説きになったのは「平等施一切」のみ教えです。かねてより御本堂でどなたでも御焼香可能な住持念願の電動リフトを本堂西側に設置致しました。お盆より車イスのまま御利用がかないます。御参堂の程お待ち申し上げます。



当山は中根山光宗院極楽寺と号し、正嘉元年(1257年)今を去る740数年前浄土宗第三祖記主禅師良忠上人が開山せられた感銘深い寺院であります。来る平成19年(2007年)は開山750年の記念に当たりますので五重相伝会を計画致しました。平成19年6月下旬より7月上旬の予定です。奮って御参集賜りますよう前もってお知らせ申し上げます。



石塔や縁石のつなぎ目やくほみ、古い墓石の割れ目などには、虫が巣を作っていたり、卵を生みつけていたりします。上からひしゃくで水をさっとかけたくらいでは、そういうものを洗い流すことはできません。小さなブラシを用意して、よくこすってよこれや害虫をかき落としてください。
お墓を大切にお守りするところは、そのままご供養につながるというのを、どうぞお忘れなく。

夏は、墓地が荒れがちな季節です。お盆にお墓参りをなさるとき、ぜひ心がけていただきたいことを挙げてみましょう。
梅雨明けとともに、墓地には雑草が生え、日に日に伸びてきます。墓地を管理する寺院としても、できるかぎり草取りをするよう努めていますが、十分に手がまわらないこともありますので、墓参りかたがたがためいめいめ縁のあるお墓の周り、そこへ行く通路の雑草を取り除いてくださるよう期待しております。
墓参をすませたあと、手桶に残った水をお墓のそばにまいて帰るかたがありますが、これは、雑草の成長をうながすことになるので、つつしんでいただきたいものです。又古い生花は墓地に捨てないで本堂西側の浄水場横にあります生花乾燥台の中に入れて下さい。(境内墓地の方)
お供えの飲食物は、墓前にさきあげたあと、持ち帰ってください。真夏の炎天下にさらされた食べものは、三、四時間で腐り始め、臭気を出すようになります。
夏の夜には、犬や猫がえさを求めて墓地に入り込むほか、暴走族グループが墓地内に集まったりすることもあり、夜間の警戒もしなくてはなりません。そのためにも、墓地にお酒などを置いたままにしないようお願いいたします。
夏の墓地には、いろいろな害虫も発生します。墓地に虫のえさとなるようなものをいっさい置かないことです。故人がお酒が大好きだったから、というので墓石にお酒を振りかけるかたがありますが、お酒によつては、墓石に虫が群らがる結果を招くことになりかねません。

夏の墓地の手入れはこうして

夏は、墓地が荒れがちな季節です。お盆にお墓参りをなさるとき、ぜひ心がけていただきたいことを挙げてみましょう。
梅雨明けとともに、墓地には雑草が生え、日に日に伸びてきます。墓地を管理する寺院としても、できるかぎり草取りをするよう努めていますが、十分に手がまわらないこともありますので、墓参りかたがたがためいめいめ縁のあるお墓の周り、そこへ行く通路の雑草を取り除いてくださるよう期待しております。
墓参をすませたあと、手桶に残った水をお墓のそばにまいて帰るかたがありますが、これは、雑草の成長をうながすことになるので、つつしんでいただきたいものです。又古い生花は墓地に捨てないで本堂西側の浄水場横にあります生花乾燥台の中に入れて下さい。(境内墓地の方)
お供えの飲食物は、墓前にさきあげたあと、持ち帰ってください。真夏の炎天下にさらされた食べものは、三、四時間で腐り始め、臭気を出すようになります。
夏の夜には、犬や猫がえさを求めて墓地に入り込むほか、暴走族グループが墓地内に集まったりすることもあり、夜間の警戒もしなくてはなりません。そのためにも、墓地にお酒などを置いたままにしないようお願いいたします。
夏の墓地には、いろいろな害虫も発生します。墓地に虫のえさとなるようなものをいっさい置かないことです。故人がお酒が大好きだったから、というので墓石にお酒を振りかけるかたがありますが、お酒によつては、墓石に虫が群らがる結果を招くことになりかねません。

第2回 25霊場のハコフットが出来上がりました。第1回の参加者はむより皆様の御参加の申込みお待ちしております。